

大阪府教育委員会が求める人物像

豊かな人間性

何より子どもが好きで、子どもと共感でき、子どもに積極的に心を開いていくことができる人

実践的な専門性

幅広い識見や主体的・自立的に教育活動に当たる姿勢など、専門的知識・技能に裏打ちされた指導力を備えた人

開かれた社会性

保護者や地域の人々と相互連携を深めながら、信頼関係を築き、学校教育を通して家庭や地域に働きかけ、その思いを受け入れていく人

がんばっています! 大阪の教育。

小・中学校

小・中学校で、子どもたちの力をしっかり伸ばします

小・中学校では9年間を通して、すべての子どもにこれからの社会で求められる確かな学力をはぐむとともに、互いに高めあう人間関係づくりをすすめます。

少人数学級編制や少人数・習熟度別指導など個に応じた指導方法の工夫改善を図っています。また、英語教育や道徳教育等、今日的な教育課題に対応した先進的な教育実践の充実を図っています。

高等学校

「卓越性」と「公平性」の二兎を追う府立高校づくりを進めます

府立高校では、「これからの日本をリードし、世界で活躍できる骨太のグローバル人材」とともに、「一市民として社会的・経済的に自立して生きていく人材」を育成します。

そのため、英語教育・理数教育やキャリア教育などの充実のみならず、グローバルリーダーズハイスクールやエンバフメントスクールなど自校の社会的使命を明確にした学校づくりをさらにすすめて、すべての生徒の能力を最大限に伸ばしていきます。

支援学校

障がいのある子ども一人ひとりの自立を応援します

府立支援学校においては、「個別的教育支援計画」等を活用して、幼・小・中・高の子ども一人ひとりの教育的ニーズをふまえた指導・支援を行うとともに、自立と社会参加の促進に向け、関係機関と連携し、就労をはじめとした支援体制の充実を図っています。

また、センター的機能を発揮し、小・中学校・高等学校等と連携しながら、障がいのある子どもたちをしっかりと支援します。

「ともに学び、ともに育つ」教育の推進

大阪府では、障がいのある子どもたちがたくさん地域の小・中学校等で学んでいます。高等学校の入学選抜においては、障がいの状況に応じて受験上の配慮を行っています。さらに、知的障がいのある生徒が高等学校で学ぶ取組みとして知的障がい生徒自立支援コースや共生推進教室を設置するなど、障がいのある生徒と周囲の生徒がともに学び、その相互理解の促進に努めています。

教育コミュニティづくりの推進

大阪府では学校・家庭・地域が連携し、地域の子どもの地域で育てるためのネットワークづくりとして、教育コミュニティづくりに取り組んでいます。教育コミュニティづくりでは、登下校の安全見守りや授業支援などの「学校支援活動」、放課後や週末の子どもの安全で安心な居場所づくりとしての「おおさか元気広場」、保護者が子育てについて学ぶ親学習と訪問型家庭教育支援による「家庭教育支援」の3つの活動を推進しています。

外国人児童・生徒が本名を使用できる環境づくり

各学校において、在日韓国・朝鮮人児童・生徒をはじめ、中国、フィリピン、ベトナムなどすべての外国人児童・生徒が本名を使用できる環境づくりを進めています。

合格者対象セミナー

合格から採用までの数カ月は、4月から始まる教員生活に向けた大切な期間です。皆さんが自信を持って子どもたちの前に立つことができるよう、合格者対象セミナーを実施しています。セミナーに参加し、教員としての自覚を高め、教員生活のスムーズなスタートを切るための準備をしましょう。

おおさか教志通信

大阪の熱中先生をめざす人のためのメールマガジン

大阪府の教員をめざす皆さんに、受験説明会のお知らせや実施状況など教員採用に関する様々な情報を配信中です！登録お待ちしています。

【スマホ版】 <https://www.mailmaga.pref.osaka.lg.jp/mailmaga/m/>

※一部対応しない端末もございます。

【パソコン版】 <http://www.pref.osaka.lg.jp/kyoshokuin/kyosai/kyoushitushin.html>

輝く先生の動画配信中!!

大阪の教育に興味を持っていただくために授業風景や先生の1日を紹介するPR動画を配信中です。是非ご覧ください。

http://www.pref.osaka.lg.jp/kyoshokuin/kyosai/kyosai_prmovie.html

過去に出題された試験問題の入手方法はコチラ!

平成28年度以降の教員採用選考テスト問題(実技テストの内容を含む)は、「府政情報センター」において、閲覧およびコピー(有料)をすることができます。

なお、右記ホームページでも公表しています。

府政情報センター(大阪府公文書総合センター内)

住所 大阪市中央区大手前2丁目 大阪府庁本館5階
最寄り駅 Osaka Metro谷町線・中央線「谷町四丁目」駅(1A番出口)
Osaka Metro谷町線・京阪本線「天満橋」駅(3番出口)
TEL 06-6944-8371
FAX 06-6944-3080
利用時間 午前9時~午後5時15分まで(土・日・祝・年末年始を除く)

■ 問合せ先 府民お問合せセンター「ピピっとライン」 TEL 06-6910-8001 FAX 06-6910-8005

受験案内について

● ホームページからのダウンロード

<http://www.pref.osaka.lg.jp/kyoshokuin/kyosai/index.html>

大阪府教員採用

検索



● 郵送での請求

210円切手を貼った返信用封筒(角形2号(33×24cm程度))を同封のうえ、下記あて先に請求してください。

〒540-8571 (住所不要)
大阪府教育庁 教職員室
教職員人事課採用グループ 受験案内請求担当



好きを仕事に! 教員への夢をつかもう!
子どもが好き。だから、頑張れる。

令和3年度 大阪府 公立学校 教員募集

出願期間: 令和2年 3月19日(木)~4月24日(金)

受験説明会 要申込

4 / 4(土)午前・午後 4 / 9(木)夜間

採用までの日程	※若干の変更が生じる場合があります。 ※詳細については、受験案内をご覧ください。
出願期間	令和2年3月19日(木)~4月24日(金)
受験票交付	6月中旬
第1次選考実施	6月27日(土)
1次結果発表	7月10日(金)
第2次選考実施	7月15日(水)・16日(木)・17日(金)・18日(土)・19日(日)
2次結果発表	8月11日(火)
第3次選考実施(筆答・実技)	8月16日(日)・19日(水)・22日(土)
第3次選考実施(面接)	8月下旬~9月下旬
3次結果発表	10月23日(金)
採用手続等説明会	令和2年11月~令和3年2月
採用・辞令交付	令和3年4月予定



先輩からのメッセージ!!

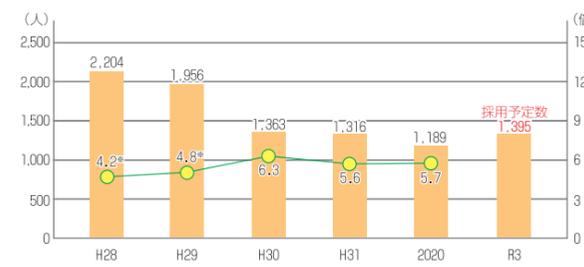
この感動を伝えたい!



2020年度 志願者数・受験者数・合格者数(校種別)

校種	志願者数(人)	受験者数(人)	最終合格者数(人)	倍率(倍)
小学校	2,016	1,800	424	4.2
小中いきいき連携	77	70	26	2.7
中学校	2,024	1,796	306	5.9
高等学校	2,037	1,733	194	8.9
特別支援学校(幼稚園・小学部共通、小学部)	284	265	80	3.3
特別支援学校(中学部)	231	206	35	5.9
特別支援学校(高等部)	383	360	87	4.1
特別支援学校(自立活動)	3	3	2	1.5
養護教諭	467	404	25	16.2
栄養教諭	127	104	10	10.4
合計	7,649	6,741	1,189	5.7

合格者数(全校種合計)と倍率の推移



※倍率については第2回実施を除く



授業づくりや集団づくりなどまだまだ未熟で、毎日が勉強です。辛いこともありますが、子どもたちの成長や素直で元気いっぱいな姿に支えられています。毎日、子どもたちの小さな成長やできたことを一緒に喜びあえることができ、教員という職業を選んだことに、後悔などあるはずがありません。

また、先輩の教職員や地域の方々にも常に背中を押していただき、とても心強いです。

これからも一人ひとりに寄り添い、向き合いながら、子どもたちの可能性を引き出せる教員であり続けたいです。

教員は子どもたちの成長を毎日見ることが出来る魅力のある仕事です。是非、大阪府と一緒に働きましょう。待ってます!



子どもたちの笑顔や成長からいつも元気をもらいながら、充実した日々を過ごしています。子どもたちから、「先生、この単元苦手やっただけできるようになった!」との声を聞いた時、失敗したことを改善していく姿を見たりすることで、とてもやりがいを感じます。

私は常に「見逃し三振より空振り三振」をモットーにしています。子どもたちには、「何事にも全力で挑戦しよう。」といつも伝えています。子どもたちは、無限の力を持っています。各々の力を存分に引き出し、幸せな人生を送ってもらいたいと思います。一つでも多く、子どもたちの笑顔や成長を見ることができるよう、私はこれからも日々努力するとともに、私自身も成長していきたいと思っています。



この1年間で、「生徒たちは大きな可能性をもっている。」と強く感じました。生徒たちは、課題研究では何度も大きな壁に直面しましたが、自分たちで考え、話し合い、検証を繰り返すことで乗り越え、探究を深めていきました。教科の授業でも、分からない問題に直面してもお互いに助け合い、話し合った末に解決することができるようになりました。生徒たちは私が予想していた何倍もの力を発揮し、私はそのたびに驚かされました。このような経験を通じて、教員の仕事は、生徒を後押しし見守りつつ、生徒のもつ可能性を最大限に引き出すことだと思えるようになりました。教員は子どもたちの成長を間近で見守ることができる仕事です。そしてそのために、もっと頑張ろうと思えること、それこそがこの仕事のやりがいだと思います。



「支援学校、おもしろい!」働き始めて1年。改めて今、そう思う自分がいます。

4月当初、人と関わることを避け、陰い顔で本を読みふける子と出会いました。右も左もわからず、ただ子どもと仲良くなりたー一心で話しかけ続け、その子の好きな将棋を何局も黙々と重ねました。紆余曲折を経て、その子が心の支えであった本を手放し、勇気を出してはじめてクラスメイトに話しかけることができたとき、「支援学校、おもしろい!」と感じずにはいられませんでした。

それぞれに魅力いっぱいの子どもたちとともに、彼らの「いま」と「これから」の笑顔に繋がる「おもしろい!」を一つでも多く作りたい。そんなことを考えながら、周りの教職員にも支えられて、まさに「ONE TEAM」で、日々楽しくすごしています。一緒にいかがですか?



私は、小学生の頃に授業をしてくださっていた、いつも素敵な笑顔の栄養の先生にあこがれ、この職をめざしました。

今は、調理員さんと協力しながら、美味しい給食を作り、子どもたちの笑顔を見ながら、とても楽しく過ごしています。すべての児童が給食時間を楽しみにしているわけではないでしょうが、どの児童にも給食時間や食に関する学びを、素敵な思い出として心に残るような食育をめざしています。

専門職ということもあり、心細いこともありますが、周りの教職員のサポートを得て、学校全体で食育を進めていくことは、とてもやりがいがあります!



かわいい笑顔の子どもたちと温かく声をかけてくださる教職員。初めての小学校勤務ですが、安心して楽しく働ける環境です。いつも元気な子どもたちも、ケガや体調不良、心の悩みなど、様々な理由をかかえ、保健室に来室します。心に雨が降る子どもたち。そんな子どもと一緒に雨宿りをするような気持ちで過ごします。誰が来室しても、安心できるように丁寧に話を聞いています。子どもの顔が晴れてきたら、もう大丈夫。「いってらっしゃい!」と教室に送りだします。

養護教諭は、すべての子どもたちと関わり、一人ひとりに寄り添い、成長を見守る喜びを感じる仕事です。すべての教育活動に関わるので、自分の得意なことを活かし、みんなと創り上げていく経験ができることも、楽しみの一つです。

大東市立 北条小学校
わたい
教諭 渡井 みのりさん



『一人ひとりに向き合って』

守口市立 大久保中学校
いしはら けいた
教諭 石原 慶太さん



『子どもたちの笑顔が自分の力になる』

大阪府立 住吉高等学校
ほりかわ なおき
教諭 堀川 直樹さん



『生徒の成長を見守る』

大阪府立 寝屋川支援学校
もりもと らいさ
教諭 森本 来希さん



『支援学校、おもしろい!』

高槻市立 高槻小学校
ところ かなこ
栄養教諭 所 加奈子さん



『心の支えになる食育を』

東大阪市立 意岐部東小学校
くらもと あさみ
養護教諭 倉本 麻美さん



『一緒に雨宿りをするよ。晴れたらいつてらっしゃい!』